



一年で一番寒く厳しい季節に突入しています。しかし、寒い中にも暖かな春の風を感じる時期でもあります。季節は確実に進んでいます。まもなく、暖かな春がやってくるでしょう。

## 面接練習の真っ最中

一月に入ってから、毎日三年生の面接練習をしています。時間がかかりますし、体力的にもキツイのですが、私は面接練習が嫌いではありません。それは、面接に臨む三年生が真剣そのものだからです。質問はいたって簡単なものです。(下記参照)

今年の三年生の感想を言わせてもらおうと、自分をPRすることについてまだまだ改善していく余地があります。高等学校の面接では、上手く答えられなかったからといって不合格になるわけではありません。言葉遣いや態度が特に悪かったり、服装が乱れていた場合は不合格になるでしょうが、面接の目的はその高等学校で三年間学び続けることができる人物かどうかを見極めるためのものです。自分の特性をよく見極めたいうで、長所を上手にアピールし、短所はことばを選んでさりげなく触れておく程度がよいでしょう。

三年生の改善すべき点を挙げておきます。

- 自分自身の考えを述べる。
- 一般的な答えだけでなく、必ず具体的な内容を入れる。
- 前の人と同じ答えであっても、独自色を入れる。(複数面接の場合)
- 答えをまず最初に言うなど、表現を工夫する。例えば、「理由は二つあります。まず第一は…、第二は…」等です。

面接は大切なものです。これまでの自分を見つめ直し、将来について深く考える絶好の機会になります。元来、日本人は控え目で恥ずかしがり屋と言われてきました。しかし、これからは自己主張の時代です。遠慮せずに自分の考えを口に出して言うべきです。

ただし、間違えないで下さい。「自己主張」と「我がまま」とは違います。「我がまま」は「他人の迷惑を考えず、自分のしたいままに振る舞う」ことです。自己主張は「自分の意見・考えを堂々と述べていく」ことで、筋の通った考えがなければなりません。この点を間違えると誰からも相手にされなくなります。自分は一体何者か、これまで何をしてきたのか、これから何がしたいのか、将来の夢は何なのか等についてよく考え、これからの進むべき道を探すことです。

そう考えれば面接は三年生だけの問題ではなく、二年生や一年生にも大切であることがわかります。一二年生も今から考えておいて下さい。皆さんの意識が変わってくれば行動や態度がきっとより良く変化してきます。

## 面接試験での質問例(備えあれば憂いなし)

面接でよく聞かれる代表的な質問を挙げておきます。自分自身のことばで解答を考え、必ずノートに解答を書いておいて下さい。一問あたり数行がよろしい。長すぎるのはNGです。

- 志望の動機(何故、この高校を選んだか)
- 特技は何か
- 得意教科不得意教科は何か
- 中学校で一番力を入れて取り組んだことは何か
- 将来はどんな職業に就きたいか(何になりたいか)
- 高等学校で取り組みたいことは何か
- 高等学校で何を学びたいか
- 尊敬する人は誰か、その理由は
- オープンスクールに参加したか?その時の感想は
- 最近のニュースで気になったことは
- 最近読んだ本で印象に残ったものは
- 苦手な教科をどう克服するか
- 普段、何を心掛けて生活しているのか
- 常陽中学校の良いところは何か
- 部活での戦績は何か
- 将来の夢は何か
- 学習と部活動をどう両立させていくか
- 一分間で自己PRして下さい 等